

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	相談援助の理論と方法B（Theory and Method of Social WorkB）		
ナンバリングコード	E30929	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 社会福祉
単位数	4	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	選択：経営経済学部 コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E042951	クラス名	-
担当教員名	鍋田 耕作		
履修上の注意、 履修条件	社会福祉士国家試験受験資格を取得しようとする者は必ず受講すること。 すでに、「相談援助の基盤と専門職A・B」および「相談援助の理論と方法A」を履修していることが望ましい。また、応用レベルの科目のため、社会福祉援助技術演習Ⅱを履修していることを条件とします。 よく考えること、たくさん読むこと、真摯な態度で授業に臨むことを心がけてください。		
教科書	新・社会福祉士養成講座8『相談援助の理論と方法Ⅱ』中央法規		
参考文献及び指定図書	MINERVA社会福祉士養成テキストブック3・4『ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱ』ミネルヴァ書房		
関連科目	相談援助の基盤と専門職AB 相談援助の理論と方法A 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習		

○基本情報		
授業の目的	ソーシャルワーカーとして欠くことのできない技術の理解・習得を目的とします。 ①相談援助における人と環境との交互作用に関する理論について理解する。 ②相談援助の対象と様々な実践モデルについて理解する。 ③相談援助の過程とそれに係る知識と技術について理解する。 ※介護保険法による介護予防サービス計画、居宅サービス計画や施設サービス計画及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)によるサービス利用計画についての理解を含む。 ④相談援助における事例分析の意義や方法について理解する。 ⑤相談援助の実践について理解する。 ※権利擁護活動を含む。	
授業の概要	「社会福祉士及び介護福祉士法」は、「身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供するの者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うこと」を、「相談援助」と位置づけている。「相談援助の理論と方法」は、個人、家族、小集団・組織、地域社会をクライアント・システムとしてとらえ、それらのシステムを横断する統一的なソーシャルワーク理論を展開する点に特徴がある。本科目では、ケースマネジメント(ケアマネジメント)、スーパービジョン、コンサルテーション、ネットワークング、さまざまな援助モデルとアプローチなどを講ずる。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	相談援助の現場への関心を深めることができる。		20点	
【知識・理解】	相談援助の実践モデルとやアプローチの方法について総合的に理解できる。	40点		
【技能・表現・コミュニケーション】	相談援助の実践モデルやアプローチの方法について、それらの適用可能性を説明できる。		20点	
【思考・判断・創造】	現実場面において相談援助技術を適用して解説することができる。		20点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
講義内容についての考察(学修に取り組む姿勢・意欲)及び内容(専門知識の活用等) [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 講義内容に関する意見交換について、次回以降の講義時間内にフィードバックを行う。

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	相談援助の理論と方法B（Theory and Method of Social Work） 鍋田 耕作	授業コード	E042951
学修内容					
1. 相談援助における対象の理解①					
社会福祉援助活動の概念、ソーシャルワークの定義について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
2. 相談援助における対象の理解②					
相談援助の対象(個人・集団・地域)の包括的理解の仕方を理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
3. ケースマネジメント①					
ケースマネジメントの目的、構成要素、過程について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
4. ケースマネジメント②					
ケースマネジメントのアセスメント、ケアプラン作成・ソーシャルワークとの関係について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
5. グループを活用した相談援助					
グループワークの意義、展開過程、地域との連携について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
6. コーディネーションとネットワークキング					
コーディネーションの目的と意義、方法、技術、留意点について理解する。 ネットワークキング目的と意義、方法、技術、留意点・地域との連携について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
7. 相談援助における社会資源の活用・調整・開発①					
社会資源の活用、調整、開発の意義と目的、方法と留意点について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
8. 相談援助における社会資源の活用・調整・開発②					
ソーシャルアクションとアドボカシーについて理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間

○授業計画		科 目 名	相談援助の理論と方法B（Theory and Method of Social Work	授業コード	E042951
		担当教員	鍋田 耕作		
学修内容					
9. さまざまな実践モデルとアプローチ①					
実践モデルとその意味について理解する。 ソーシャルワークの基盤理論と実践モデルの発展過程について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
10. さまざまな実践モデルとアプローチ②					
3つの実践モデル(治療モデル・生活モデル・ストレングスモデル)について理解する。 ジェネラリスト・ソーシャルワークと実践モデルの関係について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
11. さまざまな実践モデルとアプローチ③					
心理社会的アプローチ・機能的アプローチについて理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
12. さまざまな実践モデルとアプローチ④					
問題解決アプローチ・課題中心アプローチについて理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
13. さまざまな実践モデルとアプローチ⑤					
危機介入アプローチ・行動変容アプローチについて理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
14. さまざまな実践モデルとアプローチ⑥					
エンパワメントアプローチ・ナラティブアプローチについて理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
15. さまざまな実践モデルとアプローチ⑦					
その他のアプローチについて理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
16. さまざまな実践モデルとアプローチ⑧					
実践モデルとアプローチをめぐる課題について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	相談援助の理論と方法B（Theory and Method of Social Work） 鍋田 耕作	授業コード	E042951
学修内容				
17. スーパービジョンとコンサルテーションの技術①				
スーパービジョンの意義と目的、方法と留意点について理解する。				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
18. スーパービジョンとコンサルテーションの技術②				
コンサルテーションの意義と目的、方法と留意点について理解する。				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
19. ケースカンファレンスの技術①				
ケースカンファレンスの意義と目的、展開過程と留意点について理解する。				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
20. ケースカンファレンスの技術②				
ケースカンファレンスの実際・評価と普遍化について理解する。				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
21. 相談援助における個人情報の保護				
相談援助と個人情報保護の考え方・制度・課題について理解する。				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
22. 相談援助における情報通信技術(ICT)の活用				
相談援助における情報通信技術の活用方法、課題について理解する。				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
23. 事例研究・事例分析①				
事例研究の目的と意義、方法と留意点について理解する。				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
24. 事例研究・事例分析②				
事例分析の目的と意義、方法と留意点について理解する。				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間

○授業計画		科 目 名	相談援助の理論と方法B（Theory and Method of Social Work	授業コード	E042951
		担当教員	鍋田 耕作		
学修内容					
25. 相談援助の実際①					
実際の相談事例を用いて理解を深める。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
26. 相談援助の実際②					
実際の相談事例を用いて理解を深める。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
27. 相談援助の実際③					
実際の相談事例を用いて理解を深める。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
28. 相談援助の実際④					
実際の相談事例を用いて理解を深める。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
29. 相談援助の実際⑤					
実際の相談事例を用いて理解を深める。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
30. 授業のまとめ・振り返り					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
31. 定期試験					
予習					
復習					
32.					
予習					
復習					